

奈良市子ども・若者実態調査等支援業務
仕 様 書

奈良市子ども未来部子ども政策課

第1章 総則

本仕様書は、奈良市（以下「本市」という。）が発注する奈良市子ども・若者実態調査等支援業務（以下「本業務」という。）に適用する。

1 業務目的

本業務は、本市の幅広い世代の居住者を対象として、市民の多様な意見やニーズを把握するためのアンケート調査の実施、集計及び分析を行うことで、第3期奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン（以下「まちづくりプラン」という。）及び関連事業の評価や検証、今後の施策立案等を検討するための基礎資料となるデータを整備することを目的として実施するものである。

2 委託の期間

本業務の委託期間は、契約締結の日から令和9年3月31日まで。

3 関係法令等の遵守

受注者は、本業務の実施にあたり、本仕様書並びに関係する法令、省令、規則、細則、通知、通達及び条例等を遵守しなければならない。

4 個人情報の保護及び秘密の保持

受注者は、本業務の処理上知り得た個人情報及びその他一切の秘密を他に漏らしたり、本業務の処理以外の目的に使用してはならない。

5 提出書類

受注者は、本業務の着手及び完了にあたっては次の書類を提出しなければならない。

- (1) 着手届
- (2) 工程表
- (3) 主任技術者届け及び経歴書
- (4) 完了届
- (5) その他本市が必要とする書類

6 主任技術者及び技術員

- (1) 受注者は、本業務における主任技術者を定め、本市に届け出るものとする。
- (2) 主任技術者は、業務全般にわたり技術的監理を行わなければならない。
- (3) 受注者は、円滑に業務を遂行するために十分な数の技術員を配置しなければならない。

7 打合わせ等

- (1) 受注者は、本市担当者と緊密な連絡を取り、十分な打合せを行い、業務を遂行するものとし、担当者が指示した事項についてはその指示に従わなくてはならない。

- (2) 本市担当者との主要な打合せには、主任技術者が出席するものとし、受注者の責任において議事録を作成し、遅滞なく本市に提出しなければならない。
- (3) 受注者は、本仕様書の記載事項又は本仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は速やかに本市担当者と協議するものとする。
- (4) 緊急に打合せが必要となった際は、受注者は本市で開催する打合せについて、可能な限り当日中に出席しなければならない。

8 資料の貸与

本業務の遂行に必要な資料の収集、調査等は原則として受注者が行うものとするが、本市で所有している資料等で本業務に利用できるものは受注者に貸与する。

なお、貸与された資料等については、受注者においてリストを作成のうえ本市に提出し、業務完了後は速やかに返還するとともに本市担当者の確認を受けるものとする。

9 著作物の使用等

- (1) 受注者は、業務の実施に当たって、第三者が権利を有する著作物を使用しようとするときは、当該著作物の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約に係る一切の手続を行わなければならない。この場合において、受注者は、当該契約等の内容について事前に本市の承諾を得るものとする。
- (2) 業務の実施に関し、第三者との間に著作権に係る権利侵害の紛争等が生じたときは、当該紛争の原因が本市の責めに帰す場合を除き、受注者の責任及び負担において一切を処理するものとする。この場合、本市は当該紛争等の事実を知ったときは、受注者に通知し、受注者は、必要な範囲で訴訟上の防衛を本市のために講じなければならない。

10 成果品の検査等及び著作権等の帰属

- (1) 受注者は、第2章で示す業務の内容に基づき、本仕様書で成果品として指定された提出物一式を納品し、本市の成果品検査を受けること。
- (2) 本市の成果品検査合格をもって業務の完了とする。なお、本市の成果品検査において修正を指示した箇所については、直ちに訂正すること。
- (3) 業務完了後において、明らかに受注者の責に伴う瑕疵が発見された場合、受注者は直ちに成果品の訂正を行わなければならない。
- (4) 受注者は、成果品（報告書、資料、議事録、履行過程において得られた記録等を含む。）を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡してはならない。ただし、本市の承諾を得たときはこの限りでない。
- (5) 業務の実施に当たって生じた著作権（著作権法第21条から第28条までに規定する権利をいう。）等の一切の権利は本市に帰属するものとする。また著作者人格権を本市及び本市が指定する第三者に対し行使しないものとする。

第2章 業務内容

受注者が行う業務内容は次のとおりとする。

【調査対象】

I 就学前0歳から5歳の子どもの保護者	1, 350人	(想定回収率30%)
II 小学5年生	900人	(想定回収率40%)
III 中学2年生・高校2年生	950人	(想定回収率40%)
IV 小学5年生の保護者	1, 200人	(想定回収率30%)
V 中学2年生・高校2年生の保護者	1, 250人	(想定回収率30%)
VI 18歳から39歳までの若者	2, 350人	(想定回収率20%)
計	8, 000人	(回収率は2, 350件程度を想定)

【調査項目数】

各対象30項目程度

【実施時期】

別表1 スケジュールイメージのとおりとするが、詳細については契約締結後に本市と調整するものとする。

1 アンケート票の作成

受注者は、まちづくりプラン及び関連事業の見直しに係るアンケートの調査項目について、対象ごとに作成し、インターネットを利用して回答できるページを作成すること。

(1) 調査項目の作成

本市が示す原案(別表2)を元に、調査目的に照らし合わせて内容を確認のうえ、受注者の専門的知識及び経験並びに国及び他市の調査状況を踏まえて、調査項目及びその質問案を検討し、本市へ提案を行うこと。また、本市と協議のうえ決定した内容に基づき、アンケート票(案)を作成すること。

なお、原案(別表2)のデータ(Excel 又は Word 形式)は、本市より提供するものとする。

(2) アンケート画面作成

回答は基本、Web ページ上で行うこととし、スマートフォンやパソコン等からアクセス可能なシステムを活用した、回答用 Web ページを作成し、運用すること。また、必要に応じて画像やURL等の貼り付けを行い、回答しやすい内容や表現とすること。

なお、アンケート票の内容により、下記のとおりシステム制御を行うこと。なお、下記記載のシステム制御については、代表的なものを記載したものであり、下記以外のシステム制御について本市が依頼した場合は、契約の範囲内で本市と協議すること。

- ・調査対象者が重複回答しないよう措置を講じること。なお、対象者一人ひとりに対し、一意の管理番号（以下「個人ID」という。）を付与すること。個人IDと氏名・住所等の個人情報、対応表（マスターデータ）を作成し、適切に紐付け管理を行うこと。
- ・特定の選択肢を選択した場合は、自動的に指示した質問へ移動すること。
- ・複数選択可能な質問において特定の選択肢を選択した場合は、矛盾する他の選択肢を選択できないようにすること。
- ・自由記入の選択肢を選択した場合に、空欄のまま次に進めないようにすること。
- ・任意回答の質問を除き、無回答が生じない構成とすること。

2 アンケート調査の実施及び集計分析等

受注者は、以下のとおり、まちづくりプラン及び関連事業の見直しに係るアンケート調査を実施し、調査データの入力、集計（単純集計・クロス集計）、分析及び評価を行い、調査報告書を作成する。

（1）調査依頼文等の作成及び印刷

対象ごとの調査依頼文書（アンケート画面に遷移するための QR コード等含む）及び配布用の発送用封筒、礼状兼督促のためのはがきを作成し、印刷する。印刷原稿は印刷原稿案を受注者にて作成し、本市が確認した上で確定するものとする。

なお、配布及び発送用封筒は、定形外サイズ長3封筒を受注者にて用意することを想定しているが、「圧着はがき」へのカラー印字等により、調査依頼内容が伝わる場合は、契約の範囲内で本市と協議のうえ決定することができる。

（2）配布及び発送準備等

①調査依頼文書

調査依頼文書は郵送する。発送準備については、本市が提供する宛名データをもとに、受注者にて宛名ラベルの作成・貼付、調査票の封入・封緘を行い発送するものとし、郵送に係る経費は受注者にて負担する。

②礼状兼督促状

調査依頼文書発送後、本市の依頼に応じて礼状兼督促状を郵送する。発送対象件数は2,000件程度とし、発送対象者は本市と協議のうえ決定するものとする。発送準備については、本市が提供する宛名データをもとに、受注者にて宛名ラベルの作成・貼付を行い発送するものとし、郵送に係る経費は受注者にて負担する。

なお、上記①、②において、発送対象者の宛名データについては、その利用目的を果たした後、速やかに削除するものとする。

（3）調査データの集計・分析等

回収した調査票のデータ入力、単純集計及びクロス集計を行い、グラフ等を活用して分析を行うものとし、内容の分析については、本市と緊密な打合わせを行うものとする。

クロス集計は、性別、年代別集計のほか、市と協議して分析に必要なクロス集計を行

うものとする。また国や奈良県等と比較対照できる項目等については、当該データを抽出のうえ本市の傾向等を分析するものとする。

自由記述については、データとして入力した後、分類し意見の取りまとめを行うこと。

(4) 報告書等の作成

調査票データの集計・分析等を行った結果に基づき、調査結果速報版を作成するとともに、各設問に対してグラフ、表、コメント等を使用し、必要な場合にはイラストを使用することにより、視覚的に分かりやすく調査結果をまとめて調査報告書を作成するものとする。

なお、作業・報告段階で市から指示があればそれに従い、修正・追加等を行うとともに、報告書等の作成に当たっては、構成及び記載内容（案）や使用するグラフ・地図の種類、計数表示、端数処理、無回答等の取扱い方法等を事前に提示し、本市と協議した後本市の承認を得ること。

(5) その他

上記の（１）～（４）の業務のほか、上記業務に付随する必要な業務や、連絡及び本市との打合せ等に対して柔軟に対応すること。

3 業務の成果品

受注者は、業務に係る成果品として次に示すデータ等を納品する。ただし、下記の（１）については、その都度電子メールで提出し、本市の確認を受けること。

(1) 業務に当たり本市と受注者との間で実施した打合せの会議録並びに本市の指示事項及び当該指示に対する受注者の対応を記録した電子データ（Word形式）

- ・納期：各打合せ終了日を起算日として7営業日以内。

(2) アンケート調査結果（ローデータフラグ形式）

- ・上記の電子データ（Excel形式及びPDF形式）
- ・納期：令和8年12月上旬

(3) アンケート調査報告書速報版

- ・上記の電子データ（Word形式又はExcel形式及びPDF形式）
- ・納期：令和8年12月上旬

(4) アンケート調査結果報告書

- ・上記の電子データ（Word形式又はExcel形式及びPDF形式）
- ・納期：令和9年3月末（令和9年1月末に素案データを納品すること）

(5) (3)・(4)に掲載した図表の電子データ（Excel形式）

- ・納期：令和9年3月末

(6) その他、本市と受注者との協議により必要と認めたもの

別表1 スケジュールイメージ

業務内容	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30
奈良市 子ども・子育て会議							①												②									③					
実態調査支援業務										調査票の検討																							
													印刷 発送	調査実施																			
																回収																	
																			集計・分析														
																						ローデータ 作成・提出											
																					報告書速報版 作成・提出												
																					報告書データ作成 素案データ提出			報告書作成・提出									
																											報告書に掲載した図表の 電子データ提出						

別表2 アンケート調査項目 原案

	カテゴリ	Ⅱ：小学5年生	Ⅲ：中学2年生・高校2年生	Ⅰ：0～未就学の保護者	Ⅳ：小学5年生の保護者	Ⅴ：中学2年生・高校2年生の保護者	Ⅵ：若者
属性項目	1 本人の性別	男・女・その他・答えたくない	男・女・その他・答えたくない	男・女・その他・答えたくない	男・女・その他・答えたくない	男・女・その他・答えたくない	男・女・その他・答えたくない
	2 年齢または学年	学年（小学5年生）	学年（中学2年生・高校2年生）	年齢（満年齢）	年齢（満年齢）	年齢（満年齢）	年齢（満年齢）
	3 住んでいる地域	都道府県名・市区町村名	都道府県名・市区町村名	都道府県名・市区町村名	都道府県名・市区町村名	都道府県名・市区町村名	都道府県名・市区町村名
	4 一緒に住んでいる人	父、母、きょうだい、祖父母、一人暮らし、その他	父、母、きょうだい、祖父母、一人暮らし、その他	配偶者、子ども、親、きょうだい、祖父母、一人暮らし、その他	配偶者、子ども、親、きょうだい、祖父母、一人暮らし、その他	配偶者、子ども、親、きょうだい、祖父母、一人暮らし、その他	配偶者、子ども、親、きょうだい、祖父母、一人暮らし、その他
	5 現在の主な状況	就学中	就学中	就業、就学、家事、無職、その他	就業、就学、家事、無職、その他	就業、就学、家事、無職、その他	就業、就学、家事、無職、その他
	6 暮らし向きの主観的評価	あなたの おうちの生活は、いまだどんな感じですか？（ゆとりがある～苦しい）	自分の暮らし向き（苦しい～ゆとりがある）	世帯全体の暮らし向き（苦しい～ゆとりがある）	世帯全体の暮らし向き（苦しい～ゆとりがある）	世帯全体の暮らし向き（苦しい～ゆとりがある）	世帯全体の暮らし向き（苦しい～ゆとりがある）
	7 年収	—	—	昨年の世帯全体の年収総額	昨年の世帯全体の年収総額	昨年の世帯全体の年収総額	昨年の世帯全体の年収総額
	8 教育水準	—	—	最終学歴（卒業した学校の種類）	最終学歴（卒業した学校の種類）	最終学歴（卒業した学校の種類）	最終学歴（卒業した学校の種類）
	9 世帯状況	—	—	—	—	—	現在の世帯状況（配偶者・子の有無等）
生活の満足度	10 生活の満足度	今の 学校での生活や、毎日の生活は たのしいですか。	今の学校生活に、どの程度満足していますか。	今の生活全体に、どの程度満足していますか。	今の生活全体に、どの程度満足していますか。	今の生活全体に、どの程度満足していますか。	今の生活全体に、どの程度満足していますか。
	11 生活の満足度	学校や家以外で、自分の好きなことをして過ごす時間はありますか。	学校や家以外で、自分のために使える時間があるといますか。	今の暮らしの中で、自由に使える時間が十分にあると思いますか。	今の暮らしの中で、自由に使える時間が十分にあると思いますか。	今の暮らしの中で、自由に使える時間が十分にあると思いますか。	今の暮らしの中で、自由に使える時間が十分にあると思いますか。
	12 生活の満足度	学校や家で、のびのび過ごせていると思いますか。	学校や家で、のびのび過ごせていると思いますか。	子育てや生活の中で、無理なく過ごせていると思いますか。	子育てや生活の中で、無理なく過ごせていると思いますか。	子育てや生活の中で、無理なく過ごせていると思いますか。	今の暮らしの中で、仕事・学業・家事・介護・子育てなどを無理なく過ごせていると思いますか。
	13 自己肯定感	今の 自分のが好きですか。	今の自分に、満足していますか。	自分には、良いところがあると思いますか。	自分には、良いところがあると思いますか。	自分には、良いところがあると思いますか。	自分には、良いところがあると思いますか。
	14 自己肯定感	何か失敗しても、「次はこうしよう！」「またやってみよう！」と思えますか。	失敗しても、またやってみようと思えますか。	失敗しても、やり直せると思えますか。	失敗しても、やり直せると思えますか。	失敗しても、やり直せると思えますか。	失敗しても、やり直せると思えますか。
	15 自己肯定感	あなたは、家族や先生、友達など、周りの人から大切にされていると感じますか。	自分は、まわりの人から大切にされていると感じますか。	自分は、周りから大切にされていると感じますか。	自分は、周りから大切にされていると感じますか。	自分は、周りから大切にされていると感じますか。	自分は、周りから大切にされていると感じますか。
	16 地域特性	奈良市の好きなところや、いいなと思うところはありますか。	奈良市には、よいところや特徴があるといますか。	奈良市には、子育てしやすいと感じるところがありますか。	奈良市には、子育てしやすいと感じるところがありますか。	奈良市には、子育てや子どもの成長にとってよいところがあるといますか。	奈良市には、よいところや特徴があるといますか。
	17 地域特性	奈良市のおまつりや行事（イベント）などは、好きですか。	奈良市の行事やできごとに、親しみを感じますか。	奈良市の行事や人とのつながりが、子育てや生活の助けになっていると思いますか。	奈良市の行事や人とのつながりが、子育てや生活の助けになっていると思いますか。	奈良市の行事や人とのつながりが、子育てや生活の助けになっていると思いますか。	奈良市の行事やできごとに、親しみや参加しやすさを感じますか。
	18 居場所・遊び場	奈良市の中で、家や学校のほかに、ほっと安心できる場所はありますか。	家や学校以外に、安心して遊んだり過ごしたりできる場所がありますか。	お子さんが、家や園、学校以外に、安心して遊んだり過ごしたりできる場所がありますか。	お子さんが、家や学校以外に、安心して遊んだり過ごしたりできる場所がありますか。	お子さんが、家や学校以外に、安心して遊んだり過ごしたりできる場所がありますか。	奈良市で、家や職場・学校以外に、安心して過ごせる場所がありますか。
	19 相談体制	こまったことがあったときに、「助けて」と言えたり、相談できたりする人や場所はありますか。	奈良市で、困ったときに相談できる人や場所がありますか。	お子さんや子育てのことで、困ったときに相談できる人や場所がありますか。	お子さんや子育てのことで、困ったときに相談できる人や場所がありますか。	お子さんや子育てのことで、困ったときに相談できる人や場所がありますか。	奈良市で、困ったときに相談できる人や場所がありますか。
	20 権利・参画	自分の考えや気持ちや、まわりの大人や友達に伝えやすいですか。	自分の考えや気持ちや、周りの大人や社会に伝えやすいですか。	お子さんは、自分の考えや気持ちを伝えやすいと思いますか。	お子さんは、自分の考えや気持ちを伝えやすいと思いますか。	お子さんは、自分の考えや気持ちを伝えやすいと思いますか。	自分の考えや気持ちを、周りの人や社会に伝えやすいですか。
	21 権利・参画	あなたが言った意見は、学校や地域の中で 大切にされていると感じますか。	自分の意見が、学校や地域などで大切にされていると感じますか。	お子さんの意見が、学校や地域などで大切にされていると感じますか。	お子さんの意見が、学校や地域などで大切にされていると感じますか。	お子さんの意見が、学校や地域などで大切にされていると感じますか。	自分の意見が、学校や地域で大切にされていると感じますか。
	22 経済的状況	おこづかいや ご飯、勉強でつかうもの（ノートや文房具など）が足りなくて、こまることはありますか。	家庭の経済的なことが、進学などに影響すると感じますか。	お子さんの将来について、経済的な不安を感じることはありませんか。	お子さんの将来について、経済的な不安を感じることはありませんか。	お子さんの将来について、経済的な不安を感じることはありませんか。	仕事や生活にかかるお金について、不安を感じることはありませんか。
	23 経済的状況	将来、自分がやりたいことや進みたい道があったとき、お金の心配をせずに選べると感じますか。	将来、お金の心配をせずに進みたい道を選べると感じますか。	経済的に困ったとき、子育てや生活を支える支援があると感じますか。	経済的に困ったとき、子育てや生活を支える支援があると感じますか。	経済的に困ったとき、子育てや生活を支える支援があると感じますか。	必要なときに、子育てや生活のための経済的な支援を受けやすいと感じますか。
	24 インフラ評価	公園や道路、バスや電車など、生活に必要なものは 揃っていると思いますか。	奈良市の公園、道路、通学路、交通など、生活に必要な環境は十分だと思えますか。	奈良市の公園、道路、通学路、交通など、生活に必要な環境は十分だと思えますか。	奈良市の公園、道路、通学路、交通など、生活に必要な環境は十分だと思えますか。	奈良市の公園、道路、通学路、交通など、生活に必要な環境は十分だと思えますか。	奈良市の公園、道路、交通、買い物、医療など、生活に必要な環境は十分だと思えますか。
	25 インフラ評価	奈良市の中で、「あそこに行きたいけれど、行きにくいな」と思うことはありますか。	奈良市で、移動や利用のしやすさに困ることはありますか。	日常生活を送るうえで、移動や利用のしやすさに困ることはありますか。	日常生活を送るうえで、移動や利用のしやすさに困ることはありますか。	日常生活を送るうえで、移動や利用のしやすさに困ることはありますか。	日常生活を送るうえで、移動や利用のしやすさに困ることはありますか。
26 将来・定住性	これからも、ずっと 奈良市に住みたいと思えますか。	奈良市に、今後も住み続けたいと思えますか。	奈良市に、今後も住み続けたいと思えますか。	奈良市に、今後も住み続けたいと思えますか。	奈良市に、今後も住み続けたいと思えますか。	奈良市に、今後も住み続けたいと思えますか。	
27 将来・定住性	自分の将来（これからさきのこと）に、楽しみなことはありますか。	将来について、楽しみなことはありますか。	将来の暮らしに、不安を感じますか。	将来の暮らしに、不安を感じますか。	将来の暮らしに、不安を感じますか。	将来の暮らしに、不安を感じますか。	
28 要望・自由記述	奈良市が、子どもや若者にもっとやさしいまちになるために、特に取り組んでほしいことはありますか。	奈良市が、子どもや若者にもっとやさしいまちになるために、特に取り組んでほしいことはありますか。	奈良市が、子どもや子育てにもっとやさしいまちになるために、特に取り組んでほしいことはありますか。	奈良市が、子どもや子育てにもっとやさしいまちになるために、特に取り組んでほしいことはありますか。	奈良市が、子どもや子育てにもっとやさしいまちになるために、特に取り組んでほしいことはありますか。	奈良市が、子どもや若者にもっとやさしいまちになるために、特に取り組んでほしいことはありますか。	
29 要望・自由記述	奈良市に対して、伝えたいことや解決してほしいことはありますか。	奈良市に対して、伝えたいことや解決してほしいことはありますか。	奈良市に対して、伝えたいことや解決してほしいことはありますか。	奈良市に対して、伝えたいことや解決してほしいことはありますか。	奈良市に対して、伝えたいことや解決してほしいことはありますか。	奈良市に対して、伝えたいことや解決してほしいことはありますか。	
30 要望・自由記述	その他、ご意見を自由にお書きください。	その他、ご意見を自由にお書きください。	その他、ご意見を自由にお書きください。	その他、ご意見を自由にお書きください。	その他、ご意見を自由にお書きください。	その他、ご意見を自由にお書きください。	
31 量の見込み	—	—	保育園、幼稚園、認定こども園などに通っていますか。	放課後を主にどこで過ごしていますか。	—	—	
32 量の見込み	—	—	今後、保育園、幼稚園、認定こども園などの利用を希望しますか。	今後、放課後児童クラブなどの利用を希望しますか。	—	—	
33 量の見込み	—	—	一時預かりや病児保育を利用したいと思えますか。	—	—	—	
34 量の見込み	—	—	子育て支援策の中で、特に優先してほしいものは何ですか。	放課後の居場所や見守りについて、特に優先してほしいものは何ですか。	—	—	